

	<h1>花巣蜂</h1> <p>は ち す は な</p>	<p>令和6年8月28日 第5号 新潟市立赤塚中学校 全校生徒147名 男子78名 女子69名 TEL 025-239-2029 FAX 025-239-3313 E-mail j703akatsuka@city-niigata.ed.jp</p>
---	-------------------------------	--

チームとしての目標をいかに立てるか？

32日間の長かった夏休みも終わり、再び授業がスタートしました。めあてをもって生活したり、課題や自主学習をすすめたりして、充実した夏休みを過ごすことができたと思っています。頭と身体と心の成長は止まることはありません。これからも頭と身体と心を鍛えていきましょう。

冬休みまでの登校日数は85日です。この85日をどのように過ごすかは、みなさん自身にかかっています。風輝祭や合唱祭をはじめ、様々な行事が予定されているこの期間を充実させていきましょう。

ところで、9月7日の風輝祭を目前にして、「チームとしての目標」をいかに立てるかについて考えてみたいと思います。例えば、チームとしての目標がなければ、みんな好き勝手するだけで、チームとしてまとまることができません。とはいえ、目標を立てればチームがまとまるというわけでもありません。そもそも間違った目標の立て方をしてしまうと、絶対に成功できないことだってあります。

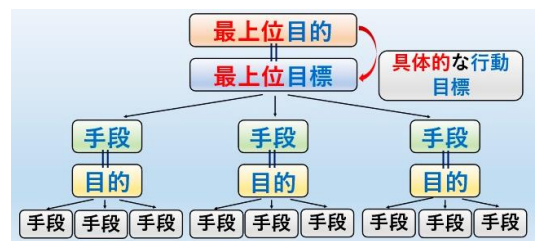
では、「目標を立てる」とはどういうことか、風輝祭についてシュミレーションしてみましょう。みなさんは、どんな風輝祭にしたいですか。そこで、「風輝祭を行う目的」について考えてみます。

「風輝祭って何のためにやるのでしょうか？」「風輝祭で目指すべきゴールは何でしょうか？」

「風輝祭って誰のためのイベントでしょうか？」 風輝祭という一大プロジェクトの目的を全員で共有することが、最も優先すべきことだと思います。

みなさんが何かをするときは、必ず目的があります。そして、目的にはそれを達成するための手段があります。たとえば、大谷選手が「ドラ1 8球団」という目的のために行った手段が「体づくり」や「人間性」、「運」などです。そして、「体づくり」という目的のために行った手段が「体のケア」や「サプリメントを飲む」などでした。このように、目的と手段は何重にも重なったピラミッドのような形で整理できます。そして、このピラミッドの頂点に据える目的のことを「最上位目的」、その「最上位目的」をより具体的な行動目標にしたものが「最上位目標」です。

では、風輝祭の「最上位目標」を考えてみましょう。「みんなの絆を深めることでしょうか？」「勝利することでしょうか？」「感動体験をするためでしょうか？」「練習の成果を保護者や地域の方に見てもらおうことでしょうか？」みなさんがどんなことに価値をおくかはバラバラです。それらに良い悪いはありません。では、どうするか。正しい目標の立て方は、「全員がOKと言える最上位目標を立てること」です。なぜ全員がOKと言える目標を立てるべきなのでしょう。全員がOKではないことを目標にすると、反対する人が我慢しないとイケないからです。考え方がバラバラな人達を誰一人置き去りにしないを実現する唯一の方法が、全員がOKと言える「最上位目標」を設定することです。



風輝祭に求める価値はみんな違っていいのですが、その中で全員がOKな目的は、おそらくひとつしかありません。それは、「全員が楽しめる風輝祭！」です。

風輝祭に求める価値はみんな違っていいのですが、その中で全員がOKな目的は、おそらくひとつしかありません。それは、「全員が楽しめる風輝祭！」です。

まだまだ暑さが続きます。熱中症対策を心掛け、「全員が楽しめる風輝祭」を目指しましょう!!



7月に実施しました学校評価に関わるアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

生徒のみなさん、保護者の皆さまからいただいた貴重な回答結果をもとに、今後の教育活動の工夫と改善を図ってまいります。赤塚中学校では、今年度の教育ビジョンに『生徒の Well-Being の向上』を掲げ、以下の重点3項目の達成を目指して、具体的な方策・手立ての実施と達成基準に基づく評価・改善の取組を行っています。今回の学校だよりでは、生徒アンケート結果と重点3項目の評価についてお知らせします。保護者アンケートの結果報告については、風輝祭特集号に掲載します。

重点1 主体性と協働性を発揮し、広い視野から集団と個人の Well-Being を考える生徒

【方策・手立て】

- ・他者と協働的に学ぶことにより、自分の考えを形成したり、言語化したりできる活動を工夫する。
- ・意見を表明したり、交流したりする機会を計画的に設け、タブレット端末を積極的に活用する。
- ・総合学習や特別活動において、探究的な学習や集団の課題を解決する過程を重視する。

【中間評価】

評価対象項目	達成基準	学期	達成状況	評価
ア 学習や生活のめあてをもって、毎日を過ごしている （「あてはまる」、「ややあてはまる」の割合）	70%以上	前期	65.5%	B
		前年度	64.9%	
イ 授業で、自分の考えを進んで伝えている （「あてはまる」、「ややあてはまる」の割合）	前年度比+5%以上	前期	52.1%	B
		前年度	48.5%	

【課題と改善策】

前年度と比較し、それぞれの項目で達成状況は向上していますが、達成基準を満たすことはできませんでした。評価項目イは、前年度比+3.6%で、達成基準を満たすにはもう一歩のところですが、7月から、互いの授業を公開し合い、意見交換や振り返りを行い、授業改善につなげるOJT研修(職員1授業実践)を開始しました。夏休み中は、前期と後期に分けて職員研修会を開き、夏休み明けの授業や学級指導に向けて準備を行いました。その成果を着実に結果に結びつけることができるよう、生徒指導や特別支援教育の視点も踏まえながら、主体的・協働的な授業の実践に取り組んでいきます。

重点2 生涯スポーツの基盤を身に付け、心身の健康の保持・増進に向けて実践する生徒

【方策・手立て】

- ・ライフの三点固定（起床・就寝・家庭学習開始時間）の記入を徹底し、継続した取組を行う。
- ・健康に関する学習を通して、食・睡眠・歯磨きなどの生活習慣の大切さについての指導を行う。
- ・学校運営協議会や保小中連携協議会の活動と連携し、メディアコントロールの実践力を高める。

【中間評価】

評価対象項目	達成基準	学期	達成状況	評価
ア ライフの三点固定（起床・就寝・家庭学習開始時間） の取組を通して基本的な生活習慣が身に付いた （「あてはまる」、「ややあてはまる」の割合）	70%以上	前期	74.6%	A
		前年度	—	
イ 学校へ行く日に7時間以上の睡眠をとる （「あてはまる」、「ややあてはまる」の割合）	前年度比+10%以上	前期	65.5%	C
		前年度	66.9%	

【課題と改善策】

評価対象項目 ア については、達成基準を上回ることができました。ライフの三点固定の取組では、朝学活・終学活のルーティンにより記入を徹底させることと点検を継続して実施してきた成果と考えています。しかし、評価対象項目 イ については、昨年度同期の達成状況を下回ってしまいました。昨年度同期と比べ、1年生と3年生は、それぞれ-1.5%、-3.1%でした。2年生は+7.2%でした。昨年度比減となった1年生では、平日に1時間以上ゲームをしている生徒が42.3%→57.9%と増加していることが気になります。2・3年生は、Youtube やテレビ、メール等の時間が昨年度比で減少し、2年生では睡眠時間に反映されたようです。3年生では家庭学習を平日100分以上行っている生徒が+2.2%、平日60分以上行っている生徒が+7.7%でした。適切な家庭学習の時間を確保した上で、十分な睡眠時間がとれるよう、ご家庭と連携した取組について検討していきたいと考えています。

重点3 相手をおもいやり、自分らしくのびのびとよりよい生き方を考える生徒

【手立て】

- ・「傾聴」を核として、誰もが安心して学習・生活できる学級づくり・集団づくりに努める。
- ・多面的な生徒理解に基づく信頼関係、共感的な人間関係づくりを意識した指導・支援に努める。
- ・不登校や学校不適応を示す生徒について、校内委員会を中心に外部機関と連携して対応する。

【中間評価】

評価対象項目	達成基準	学期	達成状況	評価
ア 自分には良いところがある （「あてはまる」、「ややあてはまる」の割合）	80% 以上	前期	81.7%	A
		前年度	75.6%	
イ 赤塚中の「傾聴」を心がけ、相手の話を真剣に聞く （「あてはまる」、「ややあてはまる」の割合）	90% 以上	前期	86.6%	C
		前年度	97.2%	

【課題と改善策】

評価対象項目 ア については、昨年度同期の達成状況を上回るとともに、達成基準も上回ることができました。多面的な生徒理解に基づく信頼関係、共感的な人間関係づくりを意識し、「学級づくりは、習慣づくり・集団づくり」を合言葉に、全校で共通した取組を実施してきました。今後も、生徒の自己肯定感の向上に向け取り組んでいきます。評価対象項目 イ については、昨年度同期の達成状況を下回り、また達成基準にも到達できませんでした。学年別集計結果を見ると、各学年の達成状況は、1年生が81.6%（「あてはまる」は15.8%）、2年生が86.7%（「あてはまる」は41.7%）、3年生が90.9%（「あてはまる」が52.3%）と学年ごとに数値が向上しています。「傾聴」を心がけ、学級の支持的風土を醸成するためには時間も必要であることは確かですが、学年の課題も明らかになってきました。そこで、夏休み中に校内委員会を立ち上げ、具体的な対応策を議論してきました。早速、個別の相談・支援に加え、学級全体への指導を行うなど、具体的な対応策に取り組んでおります。また、これから冬休みまでの期間は、大きな学校行事や生徒会活動が多く予定されています。生徒たちが共感的な態度で、それらの行事や活動に参加することにより、学級や学年の支持的風土を醸成し、生徒一人一人が自己肯定感や自己有用感を高められるようにサポートしてまいります。

保健室の先生が代わりました

巻口真紀子養護教諭が出産準備のため、8月24日より産前産後休暇に入りました。代替として三森由希子養護助教諭が着任しましたので、お知らせします。

「養護助教諭の三森由希子です。赤塚中学校の皆さんと学校生活を送れることを楽しみにしています。皆さんが健康で元気に学校生活を送れるよう、精一杯仕事をしていきたいと思っております。気軽に声をかけてください。よろしくお願いいたします。」

山川翔劉さん（3年）
北信越大会体操個人総合10位

8月6日、上越市立上越体操場ジムリーナで行われた第45回北信越中学校総合競技大会体操競技大会に、3年生の山川翔劉さんが出場し、個人総合10位という記録でした。惜しくも入賞、全国大会出場を果たすことはできませんでしたが、新潟県を代表する選手として立派な競技を行ってきました。山川さんの健闘を称えるとともに、これまで練習に打ち込んできた努力に敬意を表したいと思います。

安澤菜月さん 片岡亜梨さん（3年）
英語発表会 スキット部門で発表

8月20日、黒崎市民会館で第33回新潟市中学校英語発表会が行われ、片岡亜梨さん、安澤菜月さんが代表して参加しました。“Which is your favorite plan?”と題して2人が実際に行った旅行のプランを英語で紹介しました。どのプランに参加したいか拳手してもらい会場を沸かせました。



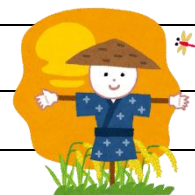
音楽部 NHK 全国学校音楽コンクール新潟県大会（奨励賞）、
全日本合唱コンクール新潟県大会（銅賞）、佐潟まつりで躍動

音楽部は、8月8日（木）に新潟市民芸術文化会館りゅーとびあで開催されたNHK全国学校音楽コンクール新潟県大会に出場し、奨励賞をいただきました。また、8月18日（日）には、新潟県民会館で開催された全日本合唱コンクール新潟県大会に出場し、銅賞をいただきました。練習の成果を発揮し、伸びやかな歌声で、心を一つにすばらしい発表をしました。

そして、8月24日（土）には、2024佐潟まつりに参加し、合唱を披露しました。部員はそれぞれ華やかな浴衣に身を包み、小さいお子さんから年配の方までお楽しみいただけるよう、“ふるさと”“栄光の架橋”“チェリー”など、童謡やJポップを歌い、拍手喝さいを浴びていました。



9月の主な予定



9/2(月)	教育実習(~27日)短縮(~6日)	9/13(金)	清掃なし 職員会議
3(火)	フッ素洗口	17(火)	全校朝会
4(水)	風輝祭打合せ	18(水)	専門委員会 短縮 キャリア教育講演会(2年生)
5(木)	風輝祭予行 ALT	19(木)	部活動強調週間(~25日)短縮 ALT SC
6(金)	風輝祭予行予備日	20(金)	激励会 短縮
7(土)	第29回風輝祭 弁当持参	22(日)	潟普請
8(日)	風輝祭予備日(弁当持参 火曜授業)	24(火)	フッ素洗口 アフタースクール(数) 短縮
9(月)	風輝祭振替休業日	25(水)	アフタースクール(英) 短縮
10(火)	フッ素洗口 いじめアンケート	26(木)	新人大会 特別時程 3年生実力テスト
11(水)	アフタースクール(数)	27(金)	佐潟クリーン活動 短縮
12(木)	アフタースクール(英)	30(月)	佐潟クリーン活動予備日